



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月30日

上場会社名 株式会社ハマキョウレックス
 コード番号 9037 URL <http://www.hamakyorex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 大須賀 秀徳
 (氏名) 竹内 義之
 TEL 053-444-0054

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	28,637	△3.6	2,367	△5.0	2,490	△5.8	1,538	0.7
2020年3月期第1四半期	29,692	10.5	2,491	7.7	2,644	8.4	1,528	5.4

(注)包括利益 2021年3月期第1四半期 1,738百万円 (0.8%) 2020年3月期第1四半期 1,725百万円 (0.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	81.52	—
2020年3月期第1四半期	80.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	122,613	70,233	50.3
2020年3月期	122,773	69,824	49.9

(参考)自己資本 2021年3月期第1四半期 61,663百万円 2020年3月期 61,315百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	35.00	—	35.00	70.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	121,000	△1.2	10,000	△1.9	10,300	△3.0	6,000	△3.7	315.70

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	19,012,000 株	2020年3月期	19,012,000 株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	199,915 株	2020年3月期	18,515 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	18,876,965 株	2020年3月期1Q	19,005,318 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(会計方針の変更)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、緊急事態宣言が発令され、社会・経済活動が制限される極めて厳しい状況で推移しました。緊急事態宣言解除後、国内では経済活動が再開されつつありますが、景気の先行きについては、感染症をめぐる今後の国内外の動向による影響に引き続き留意を要する状況にあります。

当業界におきましても、個人消費の低迷や人手不足等、経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。

こうした中、当企業グループの当第1四半期連結累計期間は、営業収益286億37百万円(前年同期比3.6%減)、営業利益23億67百万円(同5.0%減)、経常利益24億90百万円(同5.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益15億38百万円(同0.7%増)となりました。

各セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である㈱ロジ・レックスが、同じく当社の連結子会社であった㈱ジェイビーエスを吸収合併したことにより、事業セグメントの変更を行っております。これに伴い、従来「貨物自動車運送事業」として区分しておりました㈱ロジ・レックスの財務情報は「物流センター事業」に含めております。以下の前年同期比較については、変更後の区分に基づき算出した前年同期の数値を用いて比較しております。

(物流センター事業)

当第1四半期連結累計期間の営業収益は170億56百万円(前年同期比0.5%減)、営業利益は19億91百万円(同5.2%増)となりました。

営業収益につきましては、物流センター運営の充実と前連結会計年度及び当連結会計年度に受託したセンターが順次業績に寄与したこと、2019年12月に㈱シティーラインを子会社化したこと等による効果がありましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うアパレルや百貨店、旅行関連の需要減少の影響で89百万円の減収となりました。

営業利益につきましては、営業収益の減少に応じた時間外労働の抑制や更なる生産性の向上に取り組んだ結果、97百万円の増益となりました。

また、新規受託の概況につきましては、4社の物流を受託しております。

稼働状況につきましては、前期受託した1社を含めた5社すべてが稼働しております。

なお、物流センターの総数は、前連結会計年度末から2センター増加して119センターとなっております。

引き続き日々収支、全員参加、コミュニケーションを徹底して行い、収支改善に向け取り組んでまいります。

(貨物自動車運送事業)

当第1四半期連結累計期間の営業収益は115億80百万円(前年同期比7.7%減)、営業利益は3億74百万円(同37.2%減)となりました。

営業収益につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による自動車関連の休業や特別積み合わせ事業で物量が大幅に減少したことなどにより9億66百万円の減収となりました。

営業利益につきましては、営業収益の減少を受け、幹線コストや配達に係る外注費の抑制を実施した効果や燃料単価下落に伴う恩恵があったものの、2億21百万円の減益となりました。

今後につきましては、幹線便の見直しや日々の配達コストなど管理強化による更なる輸送コストの抑制、グループ内での取引の拡大を進め、収益の確保に努めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(当第1四半期の状況)

当企業グループの当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比1億59百万円減少し、1,226億13百万円となりました。これは主に、設備投資により固定資産が2億18百万円増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響で営業収益が減収となり、受取手形及び売掛金等が減少したことにより、流動資産が3億77百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比5億68百万円減少し、523億80百万円となりました。これは主に、資産と同様に新型コロナウイルス感染症の影響で支払手形及び買掛金が減少したことにより、流動負債が2億33百万円減少したことと借入金の返済等により固定負債が3億34百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比4億9百万円増加し、702億33百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益15億38百万円の計上と自己株式の取得による5億25百万円、剰余金の配当による6億64百万円の減少によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の49.9%から50.3%へと増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

この先のが国経済は、各地域における新型コロナウイルス感染症の再度の感染拡大に伴う経済活動の停滞が懸念されるなど、影響の長期化が見込まれ、当業界においても予断を許さない状況が続いております。

このような中、当社グループといたしましては、アパレル、百貨店、旅行関連や貨物自動車運送事業で引き続き厳しい環境が懸念されますが、日々変化する社会環境の中、お客様の物流利益の創出に貢献することで、お客様とともに繁栄するという心、パートナーシップを大切に、効率的な事業活動の展開と質の高い成長を図ってまいります。

2021年3月期の連結業績見通しといたしましては、前回発表の予想を据え置き、営業収益1,210億円(前年同期比1.2%減)、営業利益100億円(同1.9%減)、経常利益は103億円(同3.0%減)、親会社株主に帰属する当期純利益60億円(同3.7%減)を見込んでおります。

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、当社の主たる事業である物流センター事業及び貨物自動車運送事業については経済、景気動向及びお客様の業況等の変動により影響を受ける可能性があり、業績予想の修正が必要となる場合は速やかに開示いたします。

軽油単価につきましては、最近の情勢をもとに計算しております。軽油単価の変動による影響につきましては、1リットル当たりの単価1円の変動により、年間34百万円となります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,143	15,569
受取手形及び売掛金	14,552	14,252
商品	5	3
貯蔵品	172	184
その他	1,039	1,523
貸倒引当金	△41	△38
流動資産合計	31,872	31,495
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	29,116	28,681
土地	42,178	42,179
その他(純額)	11,136	11,652
有形固定資産合計	82,431	82,513
無形固定資産	2,632	2,575
投資その他の資産	5,836	6,029
固定資産合計	90,900	91,118
資産合計	122,773	122,613
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,039	6,421
短期借入金	16,563	16,583
未払法人税等	1,818	975
賞与引当金	1,153	194
厚生年金基金解散損失引当金	49	49
その他	7,560	9,725
流動負債合計	34,184	33,950
固定負債		
長期借入金	5,462	5,169
退職給付に係る負債	5,997	5,996
厚生年金基金解散損失引当金	175	162
その他	7,129	7,100
固定負債合計	18,764	18,429
負債合計	52,948	52,380
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,547	6,547
資本剰余金	6,445	6,445
利益剰余金	48,373	49,247
自己株式	△40	△565
株主資本合計	61,325	61,674
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	120	107
退職給付に係る調整累計額	△129	△118
その他の包括利益累計額合計	△9	△10
非支配株主持分	8,508	8,570
純資産合計	69,824	70,233
負債純資産合計	122,773	122,613

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業収益	29,692	28,637
営業原価	26,278	25,441
営業総利益	3,414	3,196
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	2	△3
役員報酬	172	182
給料及び手当	172	178
賞与引当金繰入額	33	34
退職給付費用	8	9
その他	532	427
販売費及び一般管理費合計	922	828
営業利益	2,491	2,367
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	32	29
固定資産売却益	25	17
助成金収入	2	1
売電収入	119	123
雑収入	94	76
営業外収益合計	275	249
営業外費用		
支払利息	38	38
売電原価	59	57
雑損失	23	29
営業外費用合計	122	125
経常利益	2,644	2,490
特別利益		
新型コロナウイルス感染症による助成金収入	-	139
投資有価証券売却益	-	158
特別利益合計	-	298
特別損失		
新型コロナウイルス感染症による損失	-	185
特別損失合計	-	185
税金等調整前四半期純利益	2,644	2,603
法人税、住民税及び事業税	896	967
法人税等調整額	△28	△96
法人税等合計	867	870
四半期純利益	1,777	1,732
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,528	1,538
非支配株主に帰属する四半期純利益	249	193
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△77	△8
退職給付に係る調整額	25	14
その他の包括利益合計	△52	5
四半期包括利益	1,725	1,738
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,474	1,537
非支配株主に係る四半期包括利益	250	200

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注)2
	物流センター事 業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	17,146	12,546	29,692	-	29,692
セグメント間の内部売上高 又は振替高	44	434	479	△479	-
計	17,190	12,981	30,172	△479	29,692
セグメント利益	1,893	596	2,489	2	2,491

(注)1. 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

(注)2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注)2
	物流センター事 業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	17,056	11,580	28,637	-	28,637
セグメント間の内部売上高 又は振替高	48	370	418	△418	-
計	17,105	11,951	29,056	△418	28,637
セグメント利益	1,991	374	2,365	1	2,367

(注)1. 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

(注)2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である㈱ロジ・レックスが、同じく当社の連結子会社であった㈱ジェイビーエスを吸収合併したことにより、管理区分の見直しを行っております。これに伴い、従来「貨物自動車運送事業」として区分しておりました㈱ロジ・レックスの財務情報は「物流センター事業」に含めております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。